

2012年1月27日
三菱重工業株式会社
株式会社日立製作所
三菱商事株式会社

「スペインにおけるスマートコミュニティ実証事業」の開始について

EV普及に対応した次世代交通インフラ構築などの実証事業を実施

三菱重工業株式会社(以下、三菱重工業)、株式会社日立製作所(以下、日立)および三菱商事株式会社(以下、三菱商事)は、このたび、独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が行う「スペインにおけるスマートコミュニティ実証事業」(以下、本実証事業)の委託先に選定されました。今回の選定は、3社が2011年3月から10月末まで実施した事前調査の結果に基づき、行われたものです。本実証事業は、スペイン南部のアンダルシア州マラガ市で推進されているスマートコミュニティ・マラガプロジェクトと連携して行うもので、CO₂排出量の大幅な削減が期待される次世代交通インフラの構築などをめざし、2016年3月末までに行い、本実証事業における想定予算金額は約50億円の予定です。

本実証事業は、日本の優れた再生可能エネルギーや省エネルギー技術およびスマートコミュニティ関連技術を国際展開し、日本の新たな成長産業の育成につなげることをめざし、電力の自由化や再生可能エネルギーの導入で先行するスペインにおいて、日本企業の技術を生かした次世代交通インフラの構築などを行い、その導入効果を実証するものです。

また、スペインでは、国全体のエネルギー消費量の約40%を交通分野が占めており、そのほとんどが化石燃料によるもので、CO₂およびエネルギー消費量の削減への対応策として2014年までに電気自動車(以下、EV)の総車両登録台数を25万台に引き上げる目標を掲げています。本実証事業は、大量のEV導入を支えるEVインフラの構築に対するニーズにも対応します。

具体的には、EVの普及に必要なEV用急速充電器やEV管理センターなどのEVインフラの構築および電力再販事業の運営について実証します。また、EV給電の安定化に欠かせない電力マネジメントシステムの実証や、EVインフラと電力システムの連携を可能にするICT(Information and Communication Technology: 情報通信技術)プラットフォームの実証、さらに、EV管理センターに蓄積されたデータに基づいた新たな総合サービスシステムの実証などを行います。

本実証事業における各社の役割は、ITS(Intelligent Transport System: 高度道路交通システム)において実績の豊富な三菱重工業が、EV管理センター、EV(約200台)、車載器、EV用急速充電器などを提供し、EV管理センターとEVインフラに関する実証や、再生可能エネルギー供給量の変化に応じた電力マネジメントシステムの実証などを行います。情報・通信システムや電力マネジメントシステムに実績を有する日立が、ICTプラットフォーム、EV用急速充電器および電力マネジメントシステムに

連動するデマンドサイドマネジメントの提供を行います。また、三菱商事が、ソリューションの事業化検証を行うとともに、事業要素およびサービスのパッケージングとグローバル展開の検討を行います。

なお、本実証事業では、NEDO とスペイン政府・産業技術開発センター (CDTI) が共同支援を行う「ジャパン・スペイン・イノベーション・プログラム (JSIP) (*)」のもと、スペインの電力最大手であるエンデサ社、通信最大手であるテレフォニカ社および ICT プロバイダーであるサディエル社などのスペイン企業グループもパートナーとして参画する予定です。

三菱重工業、日立および三菱商事は、本実証事業への参画により、今後も優れた省エネ・低炭素技術を活用した新たなビジネスモデルを創出するとともに、スマートシティ事業モデルの国際標準化を推進していきます。また、それぞれがパートナー企業などと連携しながら、スマートシティ事業のグローバル展開を加速していきます。

(*) ジャパン・スペイン・イノベーション・プログラム (JSIP) : NEDO とスペイン政府・産業技術センター (CDTI) が運営するプログラムであり、日本の企業等とスペインの企業が実施する国際共同技術開発プロジェクトが、両国それぞれの制度に応募し、採択された場合にはパラレルファンディングの形により実施を行う。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
